

教材

作品名 スマホに潜む危険ースマートフォンを安全に活用するために

(1)制作意図

生活に欠かせないものとなったスマートフォン。幼い子供から高齢者まで幅広い年齢の方が活用しています。通信機能がすぐれており、たくさんの情報を簡単に入手することができます。また、パソコンやカメラの役目も果たすとともに、災害などの緊急時には安否確認や避難情報を知る事ができるなど大きな力を発揮します。それだけに、活用できなくなったときのダメージは大きいものとなります。

近年では SNS といわれている LINE (ライン) Twitter (ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタグラム)、さらには MixChannel (ミックスチャンネル) とスマートフォンを活用した便利なアプリが次々と誕生しています。しかし、これらの SNS でいじめが行われたり、不適切な写真を投稿したり、知り合った相手に理不尽な対応を受けたりするなど多くの問題が発生しています。また、出会い系サイトで事件や犯罪に巻き込まれることもあります。生徒たちはスマートフォンを活用していく中で、被害者になる危険があるとともに、自分では気が付かないうちに加害者になってしまうこともあります。また、紛失して悪用された場合の被害は大きく、利用者を苦しめているのも現実であり、さまざまな問題を抱えています。

こういった中、スマートフォンを活用するにあたって、そこに潜む多くの危険を理解した上で、安全に活用するためのわかりやすい教材の作成の必要性を強く感じるようになりました。そして、スマートフォンのトラブルから生徒を救いたいという強い想いでこの教材を作成いたしました。

(2)制作に当たって留意した点

たくさんの方に活用していただきたいという気持ちをこめて制作しました。したがって、生徒に提示する教材として、多くの方が活用されているプレゼンテーションソフト「パワーポイント」の教材としました。

アニメーションはあえて一切活用せず、シンプルなものにしました。制作にあたっては、たくさんの方の書籍や文部科学省や総務省の Web サイトを参考にさせていただきました。写真やイラストについては、すべて ACワークス株式会社のフリー素材のもので、利用規定をきちんと確認した上で活用させていただきました。肖像権に関係するような写真も一切活用しておりません。

(3)作品の特色

便利なものは良いことに使っても便利であるし、逆に悪いことに使っても便利です。スマートフォンは私たちの日常の生活を助けてくれます。いつでもどこでも簡単に連絡できるし、たくさんの情報をすぐに得ることができます。しかし、悪いことに活用するときも大きな力を発揮し、犯罪にも使うこともできます。便利であるということは、実は危険と背中合わせで、それを知らずに活用することはとても危険な行為です。

スマートフォンの活用において最も危険なことは無知であることです。どこに危険が

あるのかを知った上で活用することが大切です。この教材は、スマートフォンに潜む危険を知った上で、安全に活用する方法を示しています。

(4)活用方法

現在はすでに教材の一部を授業「社会と情報」・「ビジネス実務」において教科書を補足する教材として活用しております。今後はHR・総合的な探究の時間・全校集会等で活用していければと考えています。

(5)対象者

高校生 中学生

(6)利用の方法

授業だけではなく、学校の全体指導等でも活用していきたいと考えています。また、この作品をみなさんに公開し、たくさんの方に活用していただくことも考慮して制作しました。したがってパワーポイントのアニメーション等はつけておりません。必要に応じて設定できるようにしています。

基本的には中心プレゼン（スライド2枚）で説明しながら、4つのリンク先（リンク1～4）で詳細説明していきます。冊子の中で重要な部分にはアンダーラインを引かせながら授業を進めていきます。

1 中心プレゼン（スライド21枚）

リンク1 スマートフォンでできること（スライド13枚）

リンク2 スマホに潜む危険（スライド15枚）

リンク3 スマートフォンを安全に活用するために（スライド16枚）

リンク4 安全設定（スライド17枚）

授業時間や受講対象者を考慮して、必要な部分を取り出せるように、**中心プレゼンと別にリンク先の4つのファイルも作成いたしました。**

※ データはCD-Rに保存しています。